

田中 義人 議員 … 2 件の一般質問

ひらふ地区の町有地処分と駐車場再開発



町長：第一駐車場は、町単独で開発していく考え



売却された町有地

**田中** ニセコひらふ地区の町有地の売却、交換など議会の承認がいらない形で行ったものに幾つか問題が見受けられる。

①香港資本に売却したひらふ坂の土地が契約不履行。町は売却後、相手方の会社が2回も代表者と本店の住所が変わっていることすら掴んでいない。今後の対応は。

②地図上の河川敷地と実際の河川敷地を等積交換する事に疑問の声が上がっている。また、当該地が数億円の高額がつく可能性があるとの指摘もあるが、するべき理由と進捗状況は。

③その他、ひらふ、樺山エリアで売却・交換の予定地は。

④ひらふ第一駐車場の再開発の提案を東急から受けたとの事。その内容は、それに関連し、町有地の売却などの対応は必要か。

⑤社会資本整備総合交付金事業にも関わる。関連する検討会などとの連携は。

⑥町長は再開発に伴って東急不動産から役場に社員を出向させる意向とのこと。利害関係者として適切な関係を保つ必要があると考えるが、いかがか。

**町長**

①については確認申請が終了している。竣工時期の覚書を再度取り交わして進めていきたい。

会社の代表者や住所が変わっていることは把握しておらず、古い情報で書類の更新を進めていた。今後は確認し、訂正して進める。

②河川敷の等積交換は河川管理上、河川機能の交換なので、地価の評価をする必要がない。等積での交換をする。

本件の進捗は、相手方で測量会社を頼み登記の準備を進めているが、民地との境界の了承を全ての地主からもらえておらず、進んでいない。町としては後押しもできず、先方次第だと考えている。

③その他、2件の河川敷地の交換を予定。

④リフト架け替えとウェルカムセンターの建て替えに伴う駐車場再開発の提案を東急不動産から受けている。

昨年11月に庁内に立ち上げた「ニセコひらふエリアにおける観光施設等の整備検討プロジェクト」



再開発が望まれる第一駐車場

ト」が札幌オリンピックピック・パラリンピック開催を視野に入れた中で再整備の検討をしている。それに伴う町有地の売却や他の開発は考えていない。

⑤この1年間の整備検討プロジェクトによる検討成果の発表として、10月からスキー場がオープンするまでの間の時期に、国際リゾート都市づくり検討会や、ひらふ地区住民、事業者のほか、公共交通機関やタクシー会社なども含めた中で、報告する機会を設けたいと考えている。

駐車台数については、本年度、ニセコひらふ地区の望ましい空間のあり

方に関する検討業務の中で、ひらふ地区における駐車場の収容力の調査を行うことから、その調査結果を踏まえながらの検討になる。

⑥ひらふ地区における今後の国際リゾート推進検討業務やオリンピックの絡みもある為、総合政策課に東急の社員を配置する形で検討を進めている。期間は今年の10月から今年度末の3月末までを想定。

よって、現時点での開発方法として東急との官民連携での開発、PFIなどは行わず、倶知安町が開発していく考えだ。